

Zoomセミナー用資料

# 米10-12月期決算レビュー 今注目のテーマや銘柄を深掘り解説

2025年2月12日

岡三証券 投資戦略部  
シニアストラテジスト 東野 大  
ストラテジスト 八木 菜摘

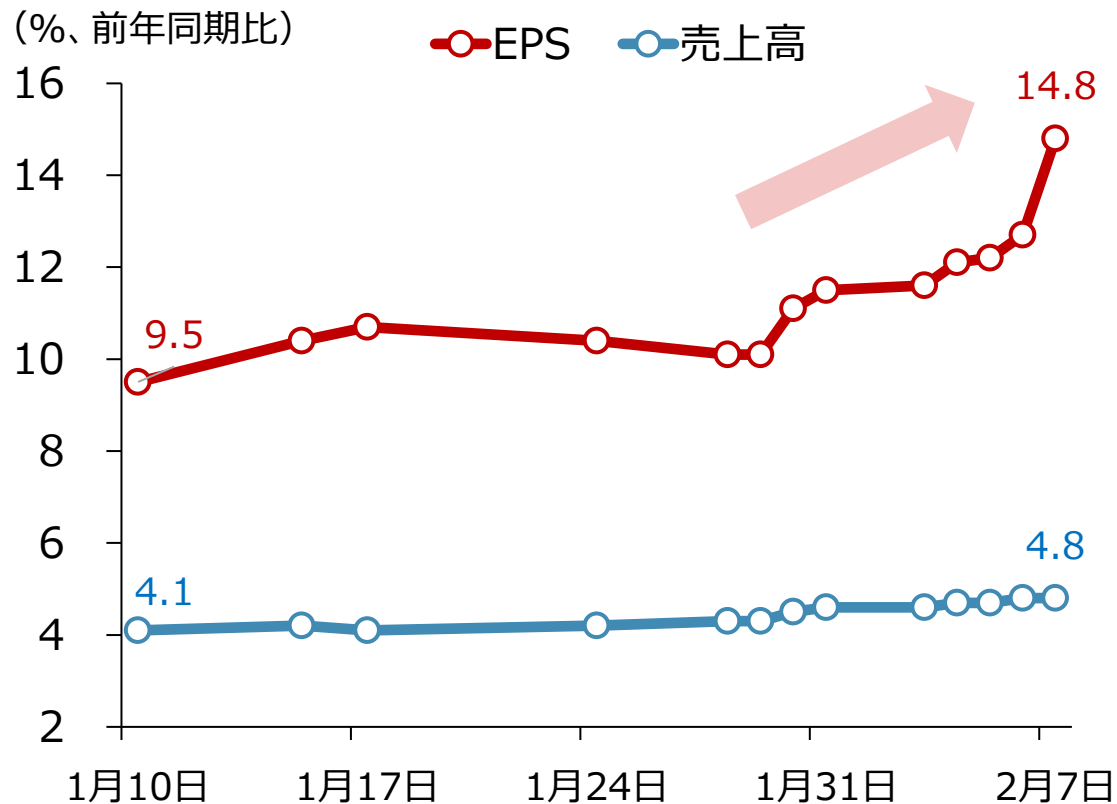


米10-12月期決算レビュー ～今注目のテーマや銘柄を深掘り解説～

**Part.1** ・S&P500企業の4Q決算サマリー  
・セクターから探す有望銘柄

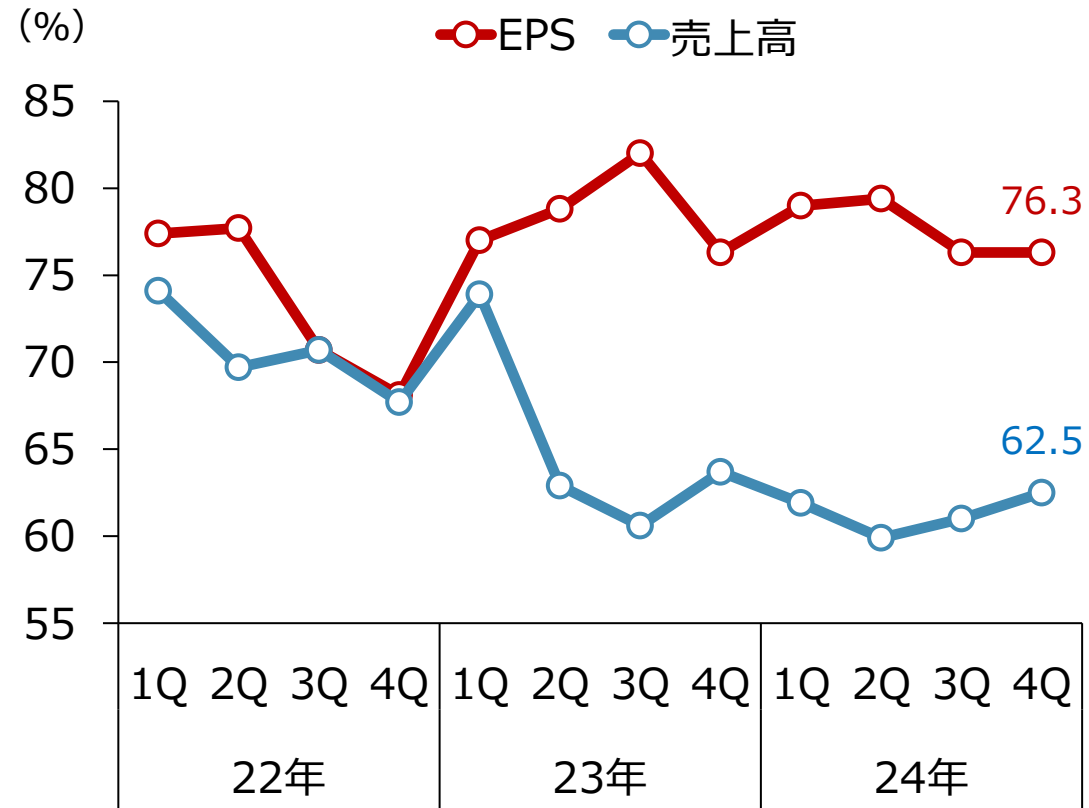
**Part.2** ・4Qの注目ポイント ①米政権交代のインパクト  
・4Qの注目ポイント ②AI・データセンター  
・テーマから探す有望銘柄

## 4Qの売上高・EPS成長率予測の推移



出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券

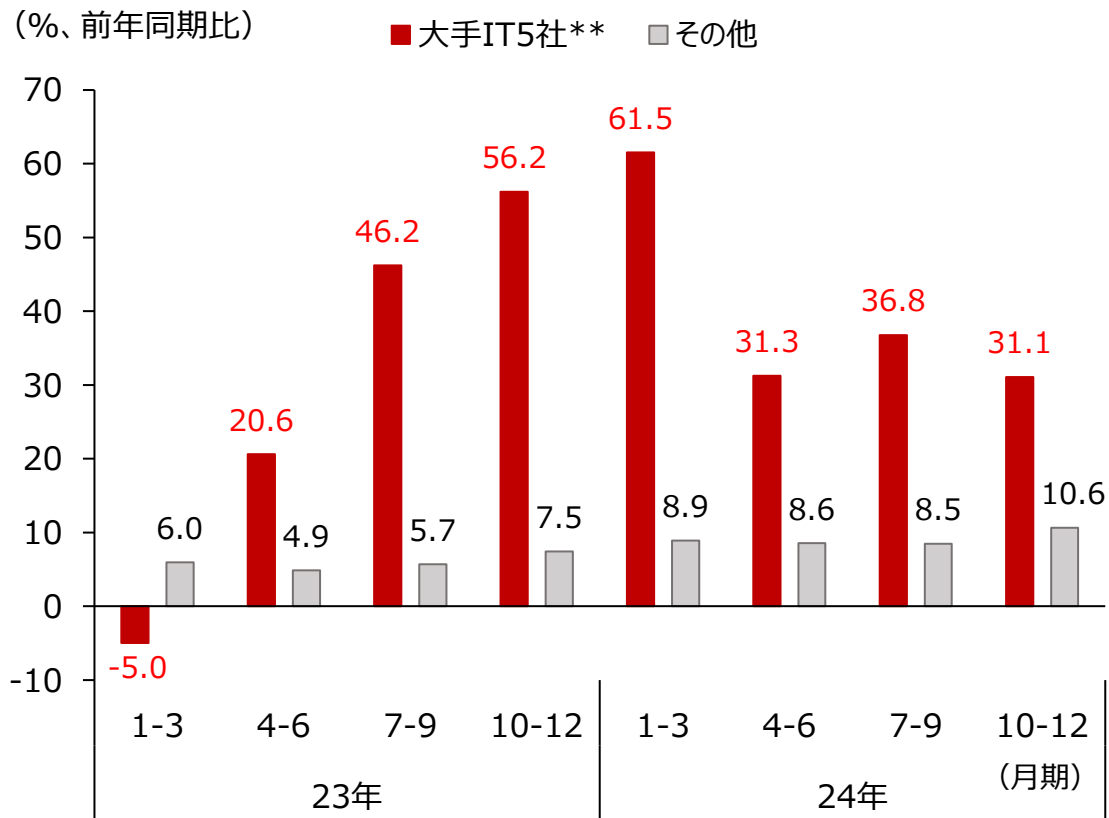
## 売上高とEPSが市場予想を上回った企業の割合



出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券 2月7日現在  
24年4Qは売上高は307社、EPSは308社のみ対象

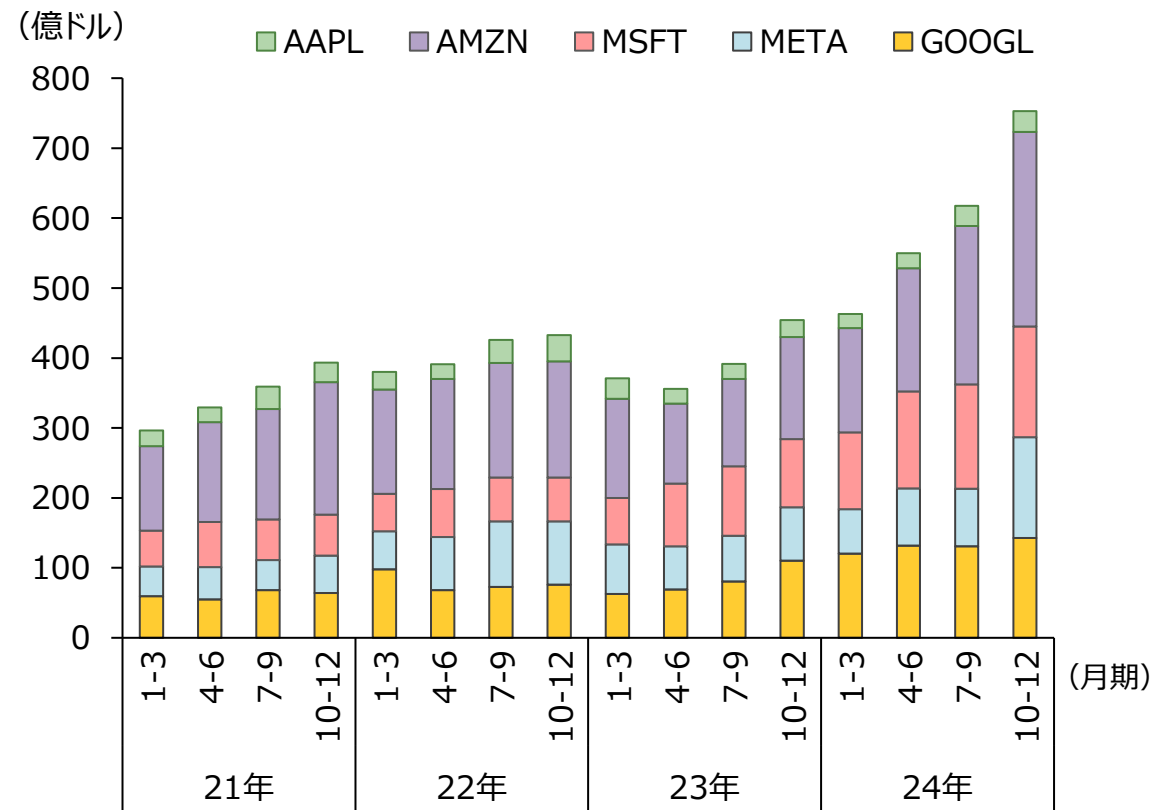
# 引き続き大企業が業績成長を牽引するが・・・

## S&P500\* EPS伸び率の推移（大手IT5社とその他）



出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券 数値はそれぞれのグループの中央値  
 \*対象は1月6日～2月7日までに決算発表済みでデータ取得可能な企業  
 \*\*大手IT5社はアップル、アマゾン・ドット・コム、アルファベット、メタ・プラットフォームズ、マイクロソフト

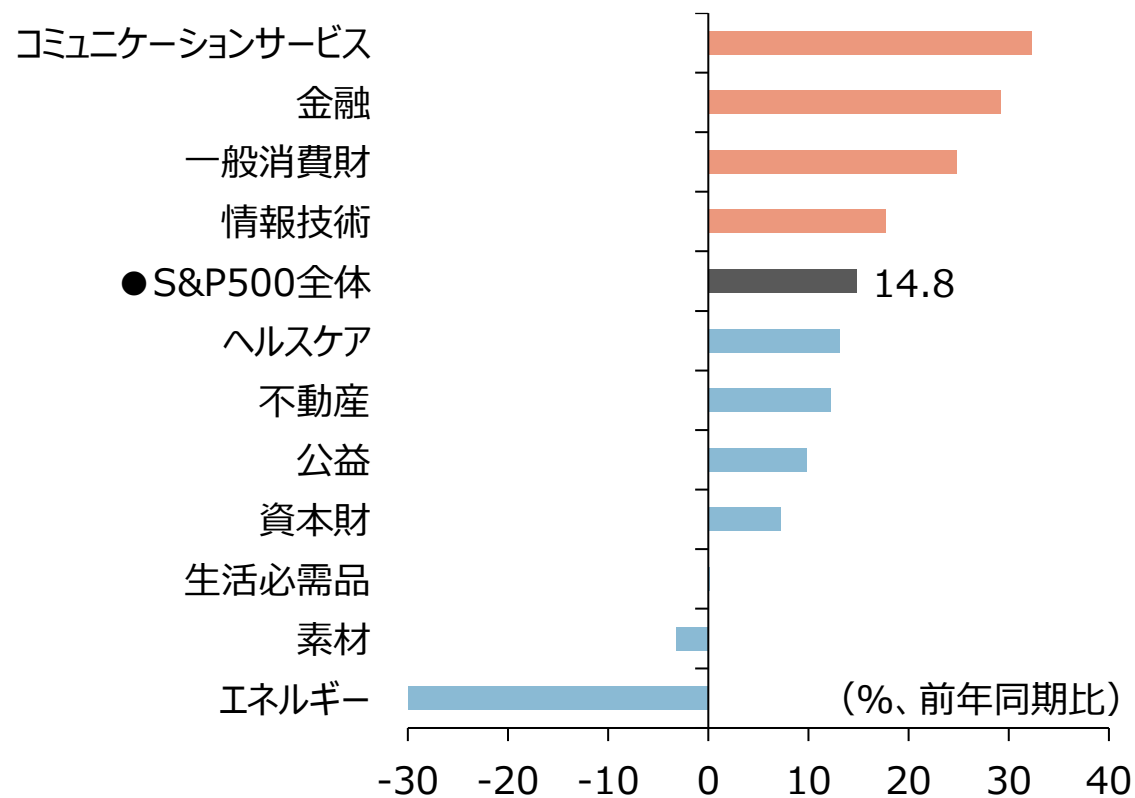
## 大手IT5社\*\*の設備投資額



出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券  
 \*\*IT大手5社はアップル、アマゾン・ドット・コム、アルファベット、メタ・プラットフォームズ、マイクロソフト

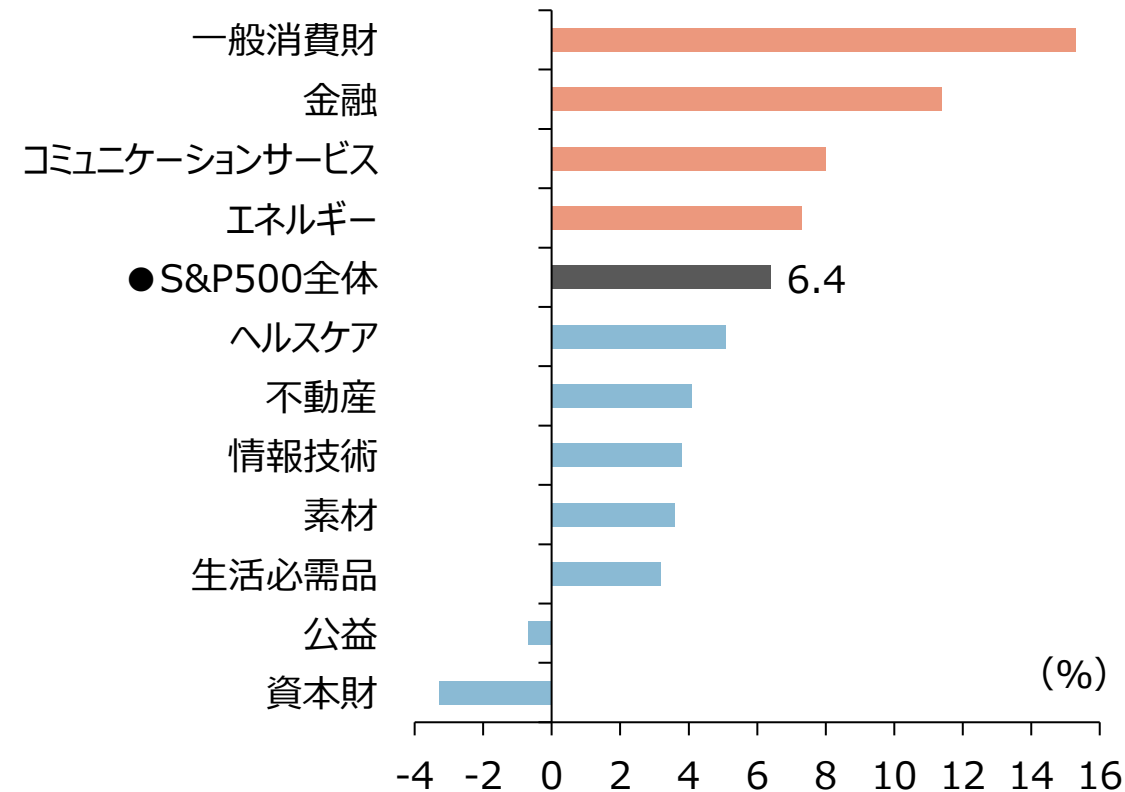
# セクターでは金融、コミュニケーション、情報技術等が好調

S&P500セクター別 4QのEPS成長率予測



出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券  
2月7日現在

4QのEPSサプライズファクター ※市場予想との乖離率

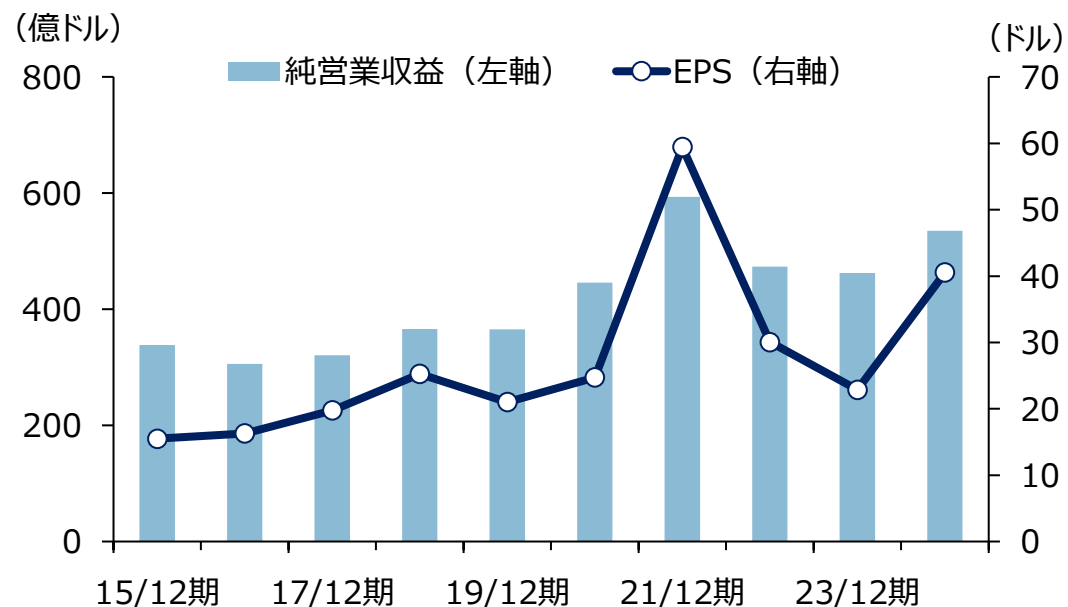


出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券  
2月7日現在

## 注目ポイント

1. M&Aに強い投資銀行大手。2024年のM&A分野の投資銀行手数料ランキングでは世界1位
2. 24/12期は投資銀行業務の回復やトレーディング業務の好調により、3年ぶりに前期比増益を達成
3. 新政権下での、大企業によるM&A規制の緩和や、企業の資金調達需要の拡大が更なる追い風に

## ▼純営業収益とEPSの推移



出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券 直近は24/12期

## ▼株価推移（週足）



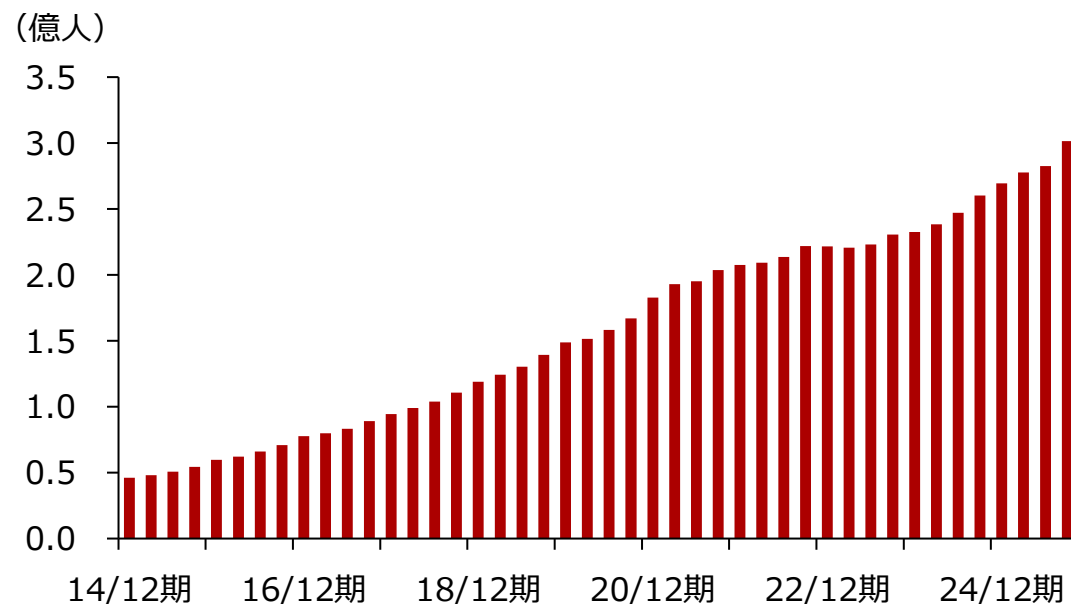
作成：岡三証券 2月7日現在

# 注目銘柄：Netflix (NFLX)

## 注目ポイント

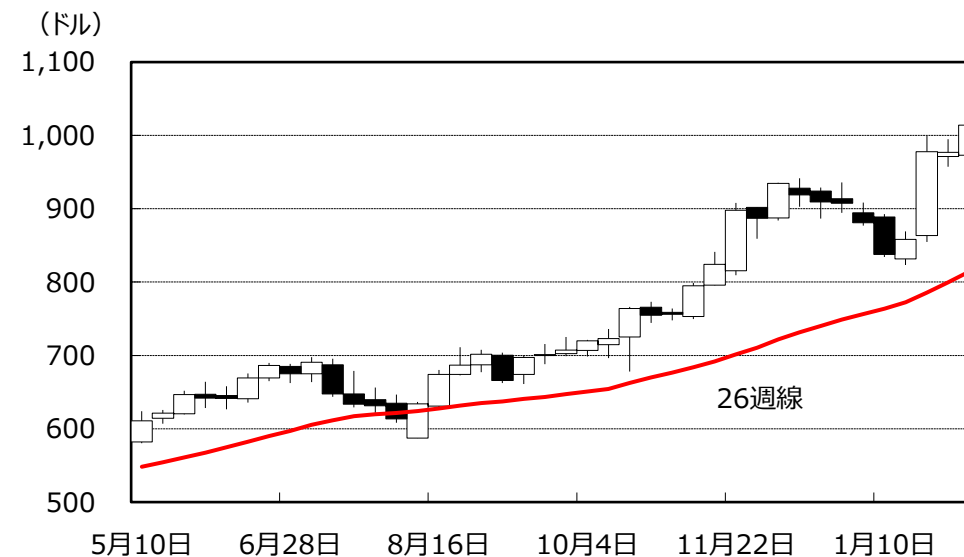
1. 動画配信サービス大手。24年4Q末時点で、世界の有料会員数は初めて3億人を突破
2. 「イカゲーム」などのオリジナル作品や、スポーツ配信事業への参入が奏功
3. 今後は四半期ごとの会員数の公表を停止。「顧客基盤の拡大」から、今後は「収益性」を重視へ

### ▼世界の有料会員数の推移



Statistaのデータを基に岡三証券作成 四半期 直近は24年4Q分

### ▼株価推移 (週足)



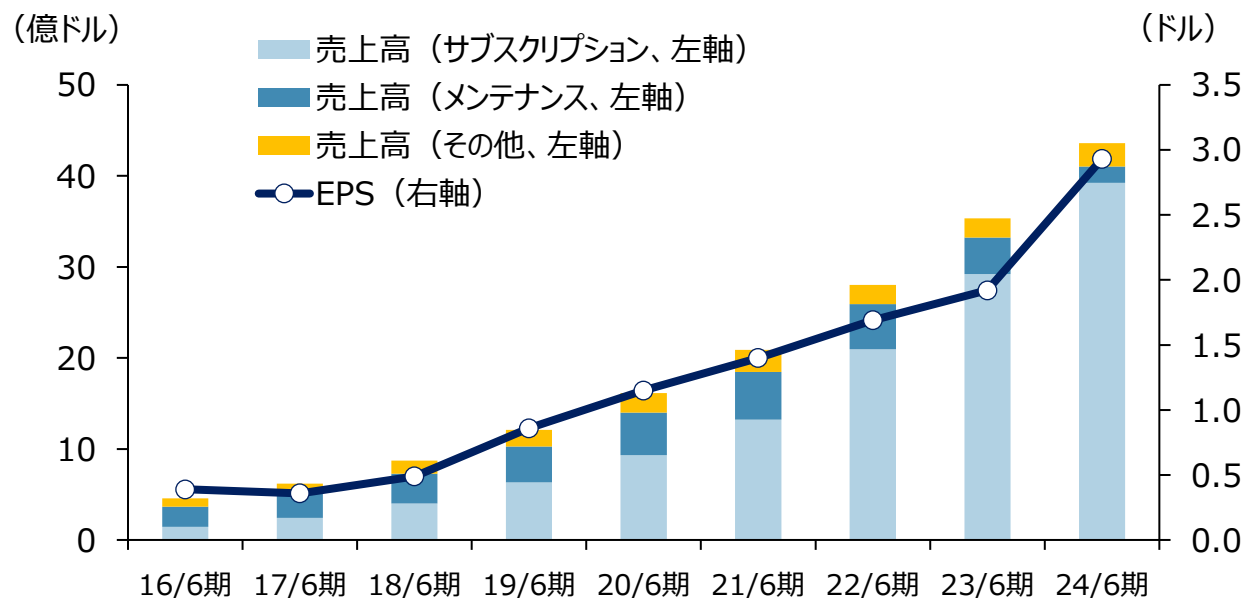
作成：岡三証券 2月7日現在

# 注目銘柄：アトラシアン A (TEAM)

## 注目ポイント

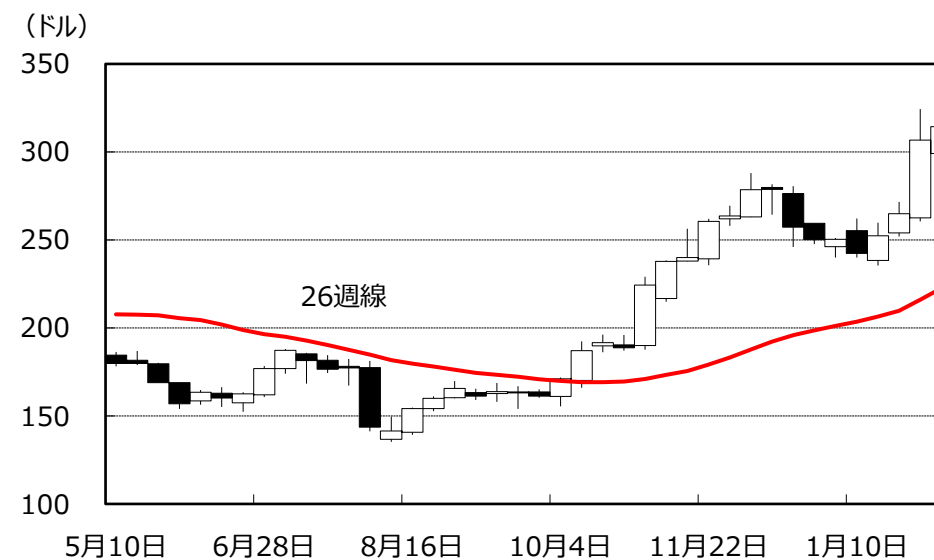
1. 2002年設立、2015年ナスダック上場のオーストラリア発のソフトウェア企業
2. ソフトウェア開発者向けに共同作業を効率化するコラボレーションソフトを提供。現在は非開発者の顧客層も拡大中
3. 2024年10月には、AIEージェント「Rovo」の提供を開始。25/6期2Q決算では通期の増収率見通しを上方修正

## ▼セグメント別売上高とEPSの推移



出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券

## ▼株価推移（週足）



作成：岡三証券 2月7日現在



## 決算公表時の各社コメントにおける注目ポイント

1. 米政権交代のインパクト
  - ・トランプ関税
  - ・スターゲート
  - ・エネルギー
  - ・ヘルスケア
  - ・その他
2. AI、データセンターは引き続き市場の注目テーマに
  - ・テクノロジー大手で実績、見通しに明暗
  - ・中国「DeepSeek」に対する見方

## トランプ政権に関する各社のコメント

### 1. トランプ関税

- ・メキシコから調達しているアボカドは約50%。コロンビアやペルー、ドミニカ共和国など、調達先を多様化している（チポトレ・メキシカン・グリル〔CMG〕）
- ・機器の多くはメキシコで製造されており、関税賦課により大きな影響がでる可能性がある（インテュイティブ・サージカル〔ISRG〕）

### 2. スターゲート（データセンターなどに4年間で最大5,000億ドルの投資を行うプロジェクト）

- ・インフラ、オンショアリング、電力、エネルギーの分野でも「スターゲート」は大きな発表であった。大統領令等の発令に関しては大きな影響はないと思われる（ユナイテッド・レンタルズ〔URI〕）
- ・（AIデータセンター建設の発表に関し）それはいいニュースであり、当社はその成長の一部に参加するのに良い立場にあると思う（キンダー・モルガン〔KMI〕）

## トランプ政権に関する各社のコメント（続き）

## 3. エネルギー

- ・トランプ政権が新たな探査地域を開放した場合、私たちは他の業界とともに、それらの資源をコスト効率よく開発する機会があるかどうかを評価することになる（エクソン・モービル〔XOM〕）

## 4. ヘルスケア

- ・米国のメディケア・パートD(65歳以上の患者、特定の障害を持つ患者を対象とした処方薬保険)の見直しに伴い、25/12期の売上高が押し下げられる（アッヴィ〔ABBV〕、ファイザー〔PFE〕）
- ・厚生長官候補のロバート・ケネディ・ジュニア氏に関しては、「ワクチンに関してより穏健な見方をしていると考えており、慎重ながら楽観的である」（ファイザー〔PFE〕）

## 5. その他：規制緩和に伴い、デジタル決済が活発化する（ビザ A〔V〕）

## 図表: 2024年米国大統領選における各党のエネルギー政策

### 民主党の綱領

- ✓ 米国で太陽光等のグリーンエネルギーの開発・製造のために4,000億ドル以上の投資
- ✓ インフレ抑制法に基づく再生可能エネルギーへの税額控除などを通じ、エネルギーコストを引き下げ

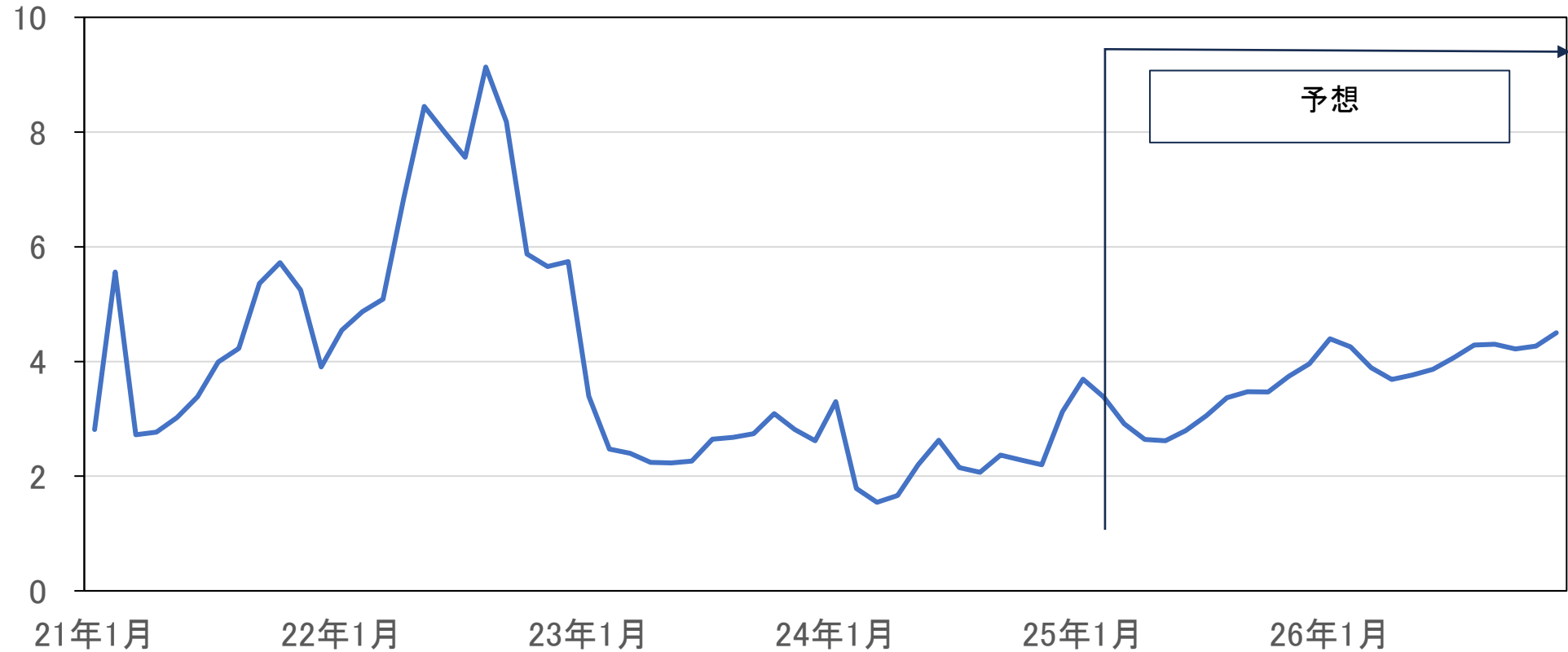
### 共和党の綱領

- ✓ グリーン・ニューディール（再生可能エネルギー等への投資等により、環境保護と経済発展を図る）の撤廃
- ✓ 石油、天然ガス、石炭、原子力など、あらゆるエネルギー源からのコストを引き下げる

出所:各種資料 作成:岡三証券

## 図表:米国の天然ガス卸売価格の見通し

(ドル/千立方フィート)



出所：米国エネルギー情報局（EIA）作成：岡三証券  
月次、実績は2024年12月まで、2025年1月以降は予想

## テクノロジー大手で実績、見通しに明暗

- メタ・プラットフォームズ A (META) : ○
  - ・「Meta AI」は2025年には10億人以上のユーザーが利用すると想定され、世界で最も利用されるAIアシスタントになる見込み。現在、月次アクティブユーザー数は7億人超となっている。25/12期通期の設備投資の計画額は600億～650億ドル
- マイクロソフト (MSFT) : ✕
  - ・過去3年でデータセンター (DC) の容量は2倍以上に増加したが、25/6期3QはDC容量の不足が続くだろう。足元の設備投資を踏まえると、25/6期末までには供給制約が解消される見込み
- アルファベット A (GOOGL) : ✕
  - ・グーグル・クラウドの成長減速 (24/12期4Qは前年同期比30%増収、3Qは同35%増収) の一因は、AI製品への強い需要に対して、利用可能な容量が不足していたこと。25/12期の設備投資額は前期比43%増の約750億ドルを見込む

※○は決算公表後株価上昇、✕は下落

## AI、データセンターは引き続き市場の注目テーマに（続き）

### 中国「DeepSeek」に対する見方

- メタ・プラットフォームズ A (META)
  - ・「DeepSeek」が及ぼす影響について、明確な意見を持つのは時期尚早。社内で緊急対応体制を構築。DeepSeekの学習データの調査・分析に当たるほか、低コストで高性能なモデル開発の解明などに取り組む
- ASMLホールディング NYSR (ASML、ティッカーは米国上場のもの)
  - ・突然現れた新興企業が競争を挑んできたことに驚いた人もいるだろう。我々はそれに慣れる必要がある。コスト低下はASMLにとって良いニュースだ。AIをより多くの用途で使用できるようになれば、チップの需要も伸びる
- アルファベット A (GOOGL)
  - ・「DeepSeek」は非常にいい仕事をした。AIの低コスト化が進めば、AIを使ってより多くのことができるようになり、そこにビジネスチャンスがある

## 今後の主な決算公表予定

日付	ティッカー	銘柄名
2月12日	CSCO	シスコシステムズ
2月13日	AMAT	アプライド・マテリアルズ
2月18日	CDNS	ケイデンス・デザイン・システムズ
2月20日	WMT	ウォルマート
2月26日	SNPS	シノプシス
2月26日	NVDA	エヌビディア
2月26日	CRM	セールスフォース
3月6日	COST	コストコ・ホールセール
3月6日	AVGO	ブロードコム

出所：各種資料 作成：岡三証券  
日付は現地時間、予定は変更される場合がある

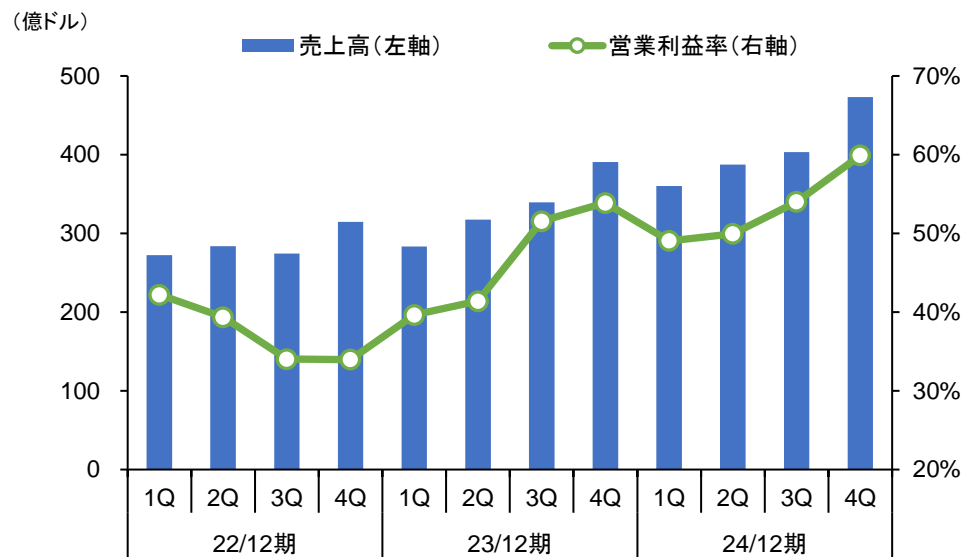


# 注目銘柄：メタ・プラットフォームズ A (META)

## 注目ポイント

1. ネット広告が好調
2. 2024年末には100億ドルを投じた過去最大のデータセンターの建設を発表
3. AIインフラ網構築による戦略的優位性も向上へ

### ▼ Family of Appsの売上高と営業利益率



### ▼ 株価推移 (週足)



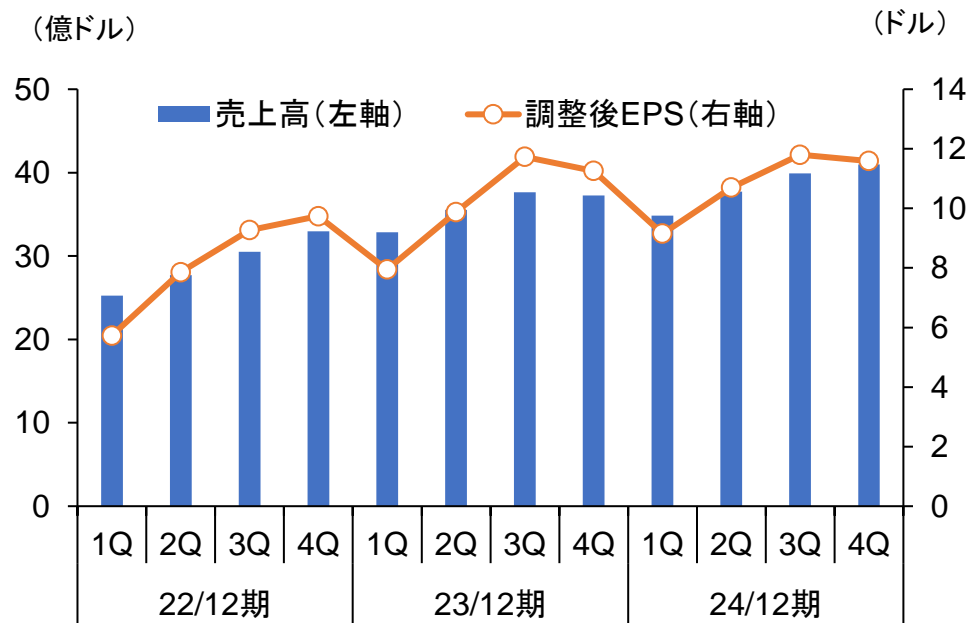
出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券

作成：岡三証券 2月7日現在

## 注目ポイント

1. 25/12期通期は、中核となるレンタル収入は前期比で1桁台半ばの成長と、若干加速すると見込んでいる
2. マクロ経済環境について「ポジティブな方向に向かっている」との認識を示す
3. インフレ圧力に関しても生産性の向上や値上げ等でカバーできるとの見方を示す

## ▼売上高、調整後EPSの推移



出所：会社資料、LSEG Workspace 作成：岡三証券

## ▼株価推移（週足）

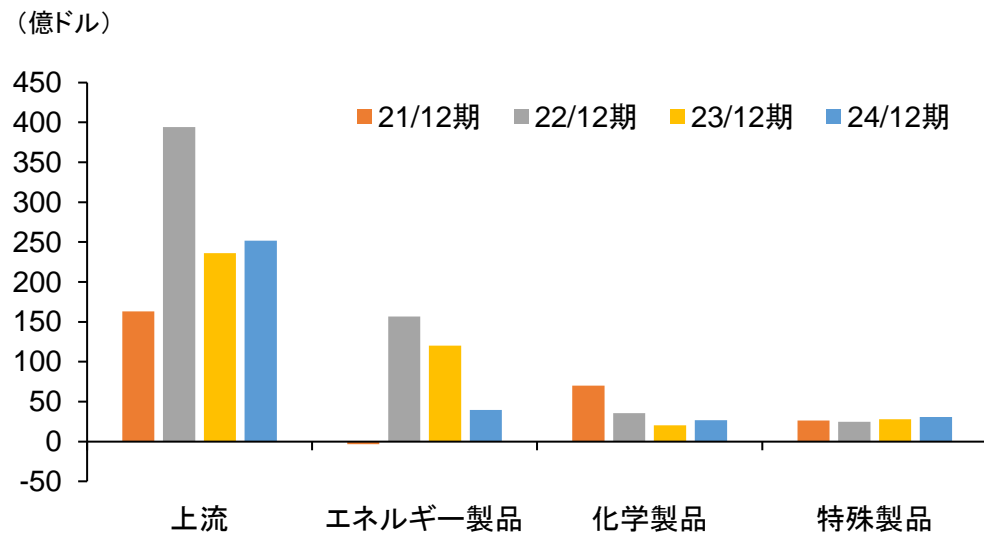


作成：岡三証券 2月7日現在

## 注目ポイント

1. エネルギー資源の探鉱・生産（上流）から輸送・精製・販売までを垂直統合
2. CO2の回収、輸送、貯蔵が可能な一貫したシステムを現在世界で唯一保有する企業
3. 2025年に開始する主要プロジェクトは順調、2026年には30億ドル以上の純利益計上へ

### ▼主な事業別の調整後純損益の推移



### ▼株価推移（週足）



出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券  
 その他企業および財務部門を除く

作成：岡三証券 2月7日現在

## 重要な注意事項

### 免責事項

- ・本レポートは、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。また、本レポート中の記載内容、数値、図表等は、本レポート作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合があります。なお、本レポートに記載されたいかなる内容も、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。
- ・本レポートは、岡三証券が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。企業が過去の業績を訂正する等により、過去に言及した数値等を修正することがありますが、岡三証券がその責を負うものではありません。
- ・岡三証券及びその関係会社、役職員が、本レポートに記載されている有価証券について、自己売買または委託売買取引を行う場合があります。岡三証券の大量保有報告書の提出状況については、岡三証券のホームページ(<https://www.okasan.co.jp/>)をご参照ください。

### <有価証券や金銭のお預かりについて>

株式、優先出資証券等を当社の口座へお預かりする場合は、口座管理料をいただきません。外国証券(円建て債券および国内の金融商品取引所に上場されている海外ETFを除きます。)をお預かりする場合には、1年間に3,300円(税込み)の口座管理料をいただきます。ただし、電子交付サービスを契約している場合には、口座管理料は1年間に2,640円(税込み)とします。なお、当社が定める条件を満たした場合は外国証券の口座管理料を無料といたします。上記以外の有価証券や金銭のお預かりについては料金をいただきません。証券保管振替機構を通じて他社へ株式等を口座振替する場合には、口座振替する数量に応じて、1銘柄あたり6,600円(税込み)を上限として口座振替手續料をいただきます。

お取引にあたっては「金銭・有価証券の預託、記帳及び振替に関する契約のご説明」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

### <株式>

- ・株式(株式・ETF・J-REITなど)の売買取引には、約定代金(単価×数量)に対し、最大1.265%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料をいただきます。ただし、株式累積投資は一律1.265%(税込み)の売買手数料となります。国内株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- ・外国株式の海外委託取引には、約定代金に対し、最大1.518%(税込み)の売買手数料をいただきます。外国株式の国内店頭(仕切り)取引では、お客様の購入および売却の単価を当社が提示します。この場合、約定代金に対し、別途の手数料および諸費用はかかりません。
- ※外国証券の外国取引にあたっては、外国金融商品市場等における売買手数料および公租公課その他の賦課金が発生します(外国取引に係る現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その合計金額等をあらかじめ記載することはできません)。外国株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- ・株式は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による株価の変動によって損失が生じるおそれがあります。
- ・株式は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、株価が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・また、外国株式については、為替相場の変動によって、売却後に円換算した場合の額が下落することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・REITは、運用する不動産の価格や収益力の変動、発行者である投資法人の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により価格や分配金の変動し、損失が生じるおそれがあります。

### <債券>

- ・債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。なお、取引価格には、販売・管理等に関する役務の対価相当額が含まれております。
- ・債券は、金利水準、株式相場、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による債券価格の変動によって損失が生じるおそれがあります。
- ・債券は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、債券価格が変動することによって損失が発生するおそれがあり、また、元本や利子の支払いの停滞もしくは支払い不能の発生または特約による元本の削減等のおそれがあります。
- ・金融機関が発行する債券は、信用状況の悪化により本拠所在地国の破綻処理制度が適用され、債権順位に従って元本や利子の削減や株式への転換等が行われる可能性があります。ただし、適用される制度は発行体の本拠所在地国により異なり、また今後変更される可能性があります。

### <個人向け国債>

- ・個人向け国債を募集により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。個人向け国債を中途換金する際は、次の計算によって算出される中途換金調整額が、売却される額面金額に経過利子を加えた金額より差し引かれます(直前2回分の各利子(税引前)相当額×0.79685)。
- ・個人向け国債は、安全性の高い金融商品であります。発行体である日本国政府の信用状況の悪化等により、元本や利子の支払いが滞ったり、支払い不能が生じるおそれがあります。

### <転換社債型新株予約権付社債(転換社債)>

- ・国内市場上場転換社債の売買取引には、約定代金に対し、最大1.10%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料をいただきます。転換社債を募集等によりご購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- ・転換社債は転換もしくは新株予約権の行使対象株式の価格下落や金利変動等による転換社債価格の下落により損失が生じるおそれがあります。また、外貨建て転換社債は、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

### <投資信託>

- ・投資信託のお申込みにあたっては、銘柄ごとに設定された費用をご負担いただきます。  
お申込時に直接ご負担いただく費用:お申込手数料(お申込金額に対して最大3.85%(税込み))  
保有期間中に間接的にご負担いただく費用:信託報酬(信託財産の純資産総額に対して最大年率2.254%(税込み))  
換金時に直接ご負担いただく費用:信託財産留保金(換金時に適用される基準価額に対して最大0.5%)  
その他の費用:監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等が必要となり、商品ごとに費用は異なります。お客様にご負担いただく費用の総額は、投資信託を保有される期間等に応じて異なりますので、記載することができません(外国投資信託の場合も同様です)。
- ・投資信託は、国内外の株式や債券等の金融商品に投資する商品ですので、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が下落することにより、損失が生じるおそれがあります。
- ・投資信託は、組入れた有価証券の発行者(或いは、受益証券に対する保証が付いている場合はその保証会社)の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が変動することにより、損失が生じるおそれがあります。
- ・上記記載の手数料等の費用の最大値は、今後変更される場合があります。

### <ファンドラップ>

#### 手数料等の諸費用について

ファンドラップにおいて、直接お支払いいただく費用は、保有する、当社が運用方針に則して選定した国内公募投資信託(以下「投資対象ファンド」といいます。)の時価評価額に対して最大1.65%(年率・税込み)となります。投資対象ファンドは、ほかの投資信託を投資対象とするファンド・オブ・ファンズとなっており、実質的な費用は、投資対象ファンドの信託報酬に最終投資先の運用管理費用(信託報酬)等を加算した費用を間接的にご負担いただきますが、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

#### 主な投資リスクについて

- 投資一任契約とは、当事者の一方が、相手方から、金融商品の価値等の分析に基づく投資判断の全部または一部を一任されるとともに、当該投資判断に基づき当該相手方のための投資を行うのに必要な権限を委任されることを内容とする契約です。
- ・投資対象ファンドは、実質的に国内外の値動きのある有価証券等により運用を行いますので、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による組入れ有価証券の値動き等に伴い、投資対象ファンドの基準価額も変動します。これらの要因により投資対象ファンドの基準価額が下落し、損失が生じるおそれがあります。
  - ・投資対象ファンドに実質的に組み込まれた株式や債券等の発行者の倒産や信用状況等の悪化により投資対象ファンドの基準価額が下落し、損失が生じるおそれがあります。

## <信用取引>

信用取引には、約定代金に対し、最大1.265%（税込み）（手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円（税込み））の売買手数料、管理費および権利処理手数料をいただきます。また、買付けの場合、買付代金に対する金利を、売付けの場合、売付株券等に対する貸株料および品貸料をいただきます。委託保証金は、売買代金の30%以上で、かつ300万円以上の額が必要です。信用取引では、委託保証金の約3.3倍までのお取引を行うことができるため、株価の変動により委託保証金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

○2037年12月までの間、復興特別所得税として、源泉徴収に係る所得税額に対して2.1%の付加税が課税されます。

○金融商品は、個別の金融商品ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なります。金融商品取引のご契約にあたっては、あらかじめ当該契約の「契約締結前交付書面」（もしくは目論見書及びその補完書面）または「上場有価証券等書面」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

ファンドラップの申込みの際には「投資一任契約書（兼契約締結時交付書面）」「サービス約款」等で契約内容をご確認ください。

○自然災害等不測の事態により金融商品取引市場が取引を行えない場合は売買執行が行えないことがあります。

## 【日本以外の地域における本レポートの配布】

・香港における本レポートの配布：本レポートは、香港証券先物委員会（SFC）の監督下にある岡三国際（亜洲）有限公司によって、SFCに規定される適格機関投資家（PI）に配信されたものです。本レポートに関するお問い合わせは岡三国際（亜洲）有限公司にお願いします。

・米国内における本レポートの配布：本レポートは岡三証券が作成したものであり、1934年米国証券取引所法に基づく規則15a-6に規定される米国主要機関投資家のみには配信されたものです。本レポートは、受領者及びその従業員が使用することを目的として配信しております。岡三証券は、米国内における登録業者ではないため、米国居住者に対しブローカー業務を行いません。本レポートのアナリストは米国で活動をしていないため、米国のリサーチ・アナリストとして登録されておらず、資格も有していません。したがって、当該アナリストは、米国金融規制機構（FINRA）規則の適用の対象ではありません。

・その他の地域における本レポートの配布：本レポートは参照情報の提供のみを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。本レポートの受領者は、自身の投資リスクを考慮し、各国の法令、規則及びルール等の適用を受ける可能性があることに注意する必要があります。地域によっては、本レポートの配布は法律もしくは規則によって禁じられております。本レポートは、配布や発行、使用等を行うことが法律に反したり、岡三証券に何らかの登録やライセンスの取得が要求される国や地域における国民や居住者に対する配布、使用等を目的としたものではありません。

※本レポートは、岡三証券が発行するものです。本レポートの著作権は岡三証券に帰属し、その目的いかんを問わず無断で本レポートを複写、複製、配布することを禁じます。

## 岡三証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第53号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

（2025年1月改定）